

越冬ハクチョウ類の南下

藤巻 裕蔵

072-0005 美唄市東4条2丁目6番1号

はじめに

2005～06年の冬には、日本各地は大雪に見舞われ、大雪が人間社会に大きな混乱をもたらしただけではなく、鳥の世界にも少なからず影響したようで、日本列島で越冬するハクチョウ類が例年では見られないような地方にも姿を現した。このことは、テレビや新聞で報道もされたが、雁を保護する会のメーリングリストの「janet」にも各地におけるハクチョウ類の渡来状況が報告されていた。ここでは、「janet」に報告された記録をまとめてみた。個体数を示す数値は、観察された総個体数で、成鳥、幼鳥の区別が明らかな場合には幼鳥数を()内に示した。なお、このまとめに当たっては報告者の氏名を省略した。

1. オオハクチョウ

本州

栃木県大田原市下石上, 2006年1月4日, 1(1), 水田で湿った枯れ草を食べていた: 2006年1月9日, 1, コハクチョウと一緒に:

栃木県大田原市片田, 2006年1月7日, 3(3)

四国

愛媛県西条市新川上空, 2006年1月6日, 1(1) [種名については?が付いている]

愛媛県上島町赤穂根島, 2006年1月6日, 1(0)

2. コハクチョウ

本州

栃木県大田原市下石上, 2006年1月7日, 5(5): 2006年1月9日, 9(5)

栃木県大田原市片田, 2006年1月7日, 91

栃木県塩谷町, 2006年1月3日, 29

このほか、小笠原諸島では4羽と12羽の2群が観察された。このうちの家族群4羽のうち2羽は保護され、衰弱していたこともあり、飛行機で東京に運ばれ、その後福島県楢葉町の大堤で放鳥された。

四国

愛媛県西条市加茂川河口，2006年1月6日，18(4)

徳島県阿南市新野町桑野川，2006年1月6日，1(0)

そのほか，栃木県内で従来から渡来が知られている水域でも例年の3倍近い個体数になっている。